

朗読ミュージカル

# 山崎陽子の世界



紫 とも

朗読ミュージカル

## 『白檀の扇子』

東 直子「とりつくしま」より

脚色・山崎陽子 作曲・片野真吾

紫 とも ピアノ・沢里尊子

誰でも、いつかはこの世に別れを告げなければなりません、命の灯が消える時に現れて声をかけるのが“とりつくしま係”だという。「あなたが未練を残している物があれば、とりつくことができますよ」と。

朗読ミュージカル

## 「高瀬舟」

森 鷗外「高瀬舟」より

脚色・山崎陽子 作曲・片野真吾

光枝 明彦 ピアノ・清水玲子

徳川時代、島流しを申し渡された罪人は高瀬舟で京都から大阪まで運ばれた。この夜、護送の役目は町奉行所の同心、羽田庄兵衛だったが、弟を殺したという喜助の、あまりに安らぎに満ちた表情が、庄兵衛には、どうしても臍に落ちなかった。

— 休憩 15分 —



光枝明彦

朗読ミュージカル

## 「夕焼けの向こう」

江川 晴「老人病棟」より

脚色・山崎陽子 作曲・藪内智子

安奈 淳 ピアノ・清水玲子

奈々子は訪問看護師。病院を離れての看護は、様々な出会いに、戸惑ったり悩んだりの日々だったが、今ではすっかり慣れて、今日も軽やかに風を切って自転車をこぐ。自分を待ちわびる人たちの元に、とびきりの笑顔を届けるために。



安奈 淳

朗読ミュージカル

## 「舌切り雀」

太宰 治「御伽草子」より

脚色・山崎陽子 作曲・片野真吾

森田 克子 ピアノ・沢里尊子

「浦島太郎」「こぶとり」「かちかち山」「舌切り雀」…誰もがなじみの四つの物語をまとめた『御伽草子』は、どれも太宰治ならではの視点と独自の発想、ユーモアとウィットに富んでいます。まずは「舌切り雀」の登場です。



森田克子

2019年 **11月13日(水)** 2:00pm (開場 1:30)  
6:30pm (開場 6:00)  
**11月14日(木)** 11:30am (開場 11:00)  
3:30pm (開場 3:00)

会場：紀尾井小ホール **6,500円** 全席指定

主催：オフィス・ディーバ 作・演出：山崎陽子 司会：中條秀子



### 山崎 陽子 (作・演出)

童話作家、ミュージカル脚本家。立教女学院卒業後、宝塚音楽学校、宝塚歌劇団を経て結婚。結婚十年目に書いた童話がきっかけとなり、次々に童話や絵本が出版され、その殆どがミュージカルとして上演されている。絵本は、中国、仏、独、米、台湾、韓国、ベルギーなどで翻訳されている。独自の舞台朗読ミュージカル「山崎陽子の世界IV」は、平成13年度文化庁芸術祭大賞を受賞。上演作品は60作を超えている。

### 朗読ミュージカルについて

1台のピアノ以外は装置も小道具もない舞台上、一人で歌い演じる「文学、音楽、演劇」が一体となった独特の世界。1990年より“朗読ミュージカル”と名付けられ、次々に発表された山崎作品は、「観る人の心に限りないイメージを広げ、暖かい空間を造り出す究極の舞台芸術」と高い評価を得、一度見たら虜になるといわれる上演作品はジャンルを超えた様々な音楽家、俳優からの脚本依頼が後を絶たない。

### 皆さまの感想より

- ◇ 視覚障害なのですが、毎年ガイドヘルパーさんと来るのを楽しみにしています。素晴らしい舞台に感動しました。ありがとうございました。
- ◇ 今年も又この日がやってきました。ステキな時間に元気を頂き、また明日から頑張れます。
- ◇ きれいな言葉と心の世界、確かな力量を持つ出演者が演じる物語に、心洗われるひとときでした。
- ◇ 涙は出るし、鼻水は出るし、おなかが痛くなるほど笑いました。

## 紀尾井小ホール

東京都千代田区紀尾井町 6 番 5 号  
TEL : 03-5276-4500(代表)

- ・ 四ツ谷駅  
(JR 線・丸の内線・南北線)  
麴町口より徒歩 6 分
- ・ 麴町駅 2 番出口 (有楽町線) 徒歩 8 分
- ・ 赤坂見附駅 D 出口  
(銀座線・丸の内線) 徒歩 8 分
- ・ 永田町駅 7 番出口  
(半蔵門線・有楽町線) 徒歩 8 分



お申し込みは  
こちらから

全席指定

■ FAX : 03 - 6429 - 3561

■ E-mail : info@roudoku-musical.com

日時をご確認の上必要枚数をご記入下さい

お名前

〒  
ご住所

お電話

① 11月13日(水) 2:00	枚
② 11月13日(水) 6:30	枚
③ 11月14日(木) 11:30	枚
④ 11月14日(木) 3:30	枚

<http://roudoku-musical.com>

お問い合わせはオフィス・ディーバ TEL 03-6429-3560